

OpenText Functional Testing でテスト効率を 200% 向上、ソリューションの品質と顧客満足度の向上

TIS社は、ビジネスを支える基幹システムから、高い競争力を生むアプリケーション、さらにはシステムの基盤となるプラットフォームまで、幅広い業界・分野でITサービスを提供する総合ITサービス企業です。TIS社は、長年にわたって培ってきた経験と技術により、常にお客様の経営課題を把握し、潜在的なニーズを先取りしたサービスをお届けすることで、お客様のデジタルビジネス変革に貢献する企業です。同社が金融機関に提供する与信管理ソリューション SCORE LINK のアップデート毎の膨大なテストケースを Functional Testing で自動化。軽減した作業負荷を高品質なソリューション開発に振り向け顧客満足度の向上を図っています。

課題

手動テスト作業は時間がかかり、エラーが発生しやすい

アプリケーションテストに関連する課題について、TIS フィナンシャルサービス部主査である宮崎憲一氏は、「当社のソリューションをご利用いただいているお客様の利用環境としては、様々なバージョンの OS や SQL Server があり、かつ、継続的にアップデートが行われています。それぞれの環境における動作確認、そして、メジャーまたはマイナーバージョンを問わず、SCORE LINK に変更を加えるたびに、リリース前のテストが必要になります。お客様の利用環境は 100 種以上の異なる組み合わせとなり、1 環境あたり毎回 2,000 以上のテストケースを実施する必要があります。手動でのテストは繰り返し作業が多く、人的ミスのリスクが常につきまといまいます。また、エビデンスの一貫性を確保するのが困難で、時間もかかります。もはや、自動化なしに効果的なテストを継続的に実施していくことは不可能でした」と語ります。

特に、マイクロソフト Windows 10 の半期毎のアップデートへの対応は必須であることから、お客様が SCORE LINK を利用する環境に大き

く影響を与えました。SCORE LINK は金融機関が利用するビジネスクリティカルな与信管理ソリューションであるということから、ソリューションの品質はお客様がもっとも重視することです。一方、お客様の環境の変化に迅速に対応することも重要であり、この Windows 10 アップデートへの対応をきっかけとして、テストの自動化が検討されました。

「OpenText Functional Testing を導入したことで、環境の変化に迅速に対応し、SCORE LINK が確実に動作するための検証ができることがお客様から評価され、競争力を高めることができました。テスト工程を自動化することで、ソリューションの品質向上に力を注ぐことができ、お客様の信頼を得ることができました。」

TIS株式会社
 フィナンシャルサービス部
 ペイメントサービスユニット
 DXビジネスユニット
 主査 宮崎 憲一氏

事業内容

総合ITサービス

企業名

TIS株式会社

ビジネス課題

ビジネスクリティカルな金融機関向けの与信管理ソリューションについて、100通り以上の組み合わせにもなる顧客利用環境に対応するテスト作業の負荷を軽減すること

ビジネスソリューション

機能テスト自動化ソリューション「Functional Testing」を採用し、お客様の利用環境に合わせた継続的アップデートに伴う各種テストを自動化

ビジネスメリット

- ・テスト効率を 200% 向上
- ・迅速なテストで競争優位性と顧客満足度を向上
- ・テスト要員のモチベーションを向上し、繰り返しの作業ではなく、高品質なソリューション開発に注力
- ・テスト自動化による人的ミスの排除

「Functional Testingの導入により、毎月のテスト環境の数が200%増加しました。テストスクリプトを標準化したことで、人的ミスがなくなりました。SCORE LINKの新機能をあらゆる環境に展開する準備は万全です。」

TIS株式会社
フィナンシャルサービス部
ペイメントサービスユニット
DXビジネスユニット
上級主任 小林 あき氏

ソリューション

Functional Testingによる高度なオブジェクト認識

TISは、テストプロセスを自動化することで、反復的なテスト作業に伴う作業負担を軽減し、これによって生まれる時間的な余裕を、より迅速で、高品質なソリューション開発に振り向けたいと考えていました。この改善はスタッフのモチベーションを高め、顧客満足度を高めることにもなります。チームは、3つの異なるテストツールを評価しました。そのうちの1つが、Functional Testingであり、インテリジェントな機能によりテスト自動化を加速できるように設計されていました。

「当社のSCORE LINKソリューション群はWindows上で動作しますが、Functional Testingがこれを完全にサポートしていることに満足しています。他に検討した2つのツールは、オブジェクトの認識において我々のGUIインターフェースをサポートしていなかったため、Functional Testingが私たちにとって正しい選択であると判断しました」(宮崎憲一氏)

成果

テスト効率の200%向上とソリューション品質の向上

Functional Testingの実装は6か月程度で完了し、すべてのテストスクリプトが作成されました。Windows上でのユーザーの操作手順の録画・再生や、画面キャプチャや動画をテスト結果レポートに添付するなどの機能を活用することで、TISは新しいリリースの前に、SCORE LINKを利用する環境のあらゆる組み合わせを検証できるようになりました。

「Functional Testingを導入したことで、毎月のテスト環境の数が200%増加しました」と

TISフィナンシャルサービス部上級主任の小林あき氏は語ります。「テストスクリプトを標準化したことで、人的ミスがなくなりました。SCORE LINKの新機能をあらゆる環境に展開する準備は万全です」(小林あき氏)

「Functional Testingを導入したことで、環境の変化に迅速に対応し、SCORE LINKが確実に動作するための検証ができることがお客様から評価され、競争力を高めることができました。テスト工程を自動化することで、ソリューションの品質向上に力を注ぐことができ、お客様の信頼を得ることができました」(宮崎憲一氏)

SCORE LINKについて

「SCORE LINK (スコalink)」は、財務諸表入力業務や財務診断業務を支援する与信管理ソリューションです。日本では、企業が融資を申し込む際の与信管理業務を金融機関が行っています。財務登録業務の効率化、事務作業の軽減、審査業務の標準化、紙資料の授受廃止によるペーパーレス化、セキュリティリスクの軽減、取引先とのコミュニケーション強化などを目的として、TISが開発したSCORE LINKは、1997年の提供開始から、銀行、信用金庫、信用保証協会などの金融機関を中心に300以上の企業への導入実績があり、40%の市場シェアを獲得しています。SCORE LINKは主に以下の2つのソリューションで構成されています。

財務諸表入力ソリューション：

scoreENTRYは、人工知能(AI)と光学式文字認識(OCR)を活用し、財務諸表を迅速かつ正確に使用可能なデータに変換します。

企業審査分析ソリューション：

scoreNAVIは、財務諸表上の問題点を自動的に分析し、迅速な財務診断を実現します。

オープンテキスト株式会社

Tel: 03-4560-7704 Email: jpmkt-group@opentext.com
<https://www.opentext.jp>

マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社 (OpenText グループ)

<https://www.microfocus-enterprise.co.jp/>